

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年01月17日

計画の名称	琵琶湖・若狭湾を結ぶ周遊観光を促進する福井・滋賀の広域的地域活性化計画（重点　　）													
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度（５年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	福井県													
計画の目標	福井県嶺南地域と滋賀県湖北・湖西地域は、福井県の若狭湾と滋賀県の琵琶湖を結ぶ地域であり、歴史遺産や食文化を活用し、国内外からの観光客の呼び込みを目指すルートとして、「美の伝説」が設定されている。そこで呼び込んだ観光客の広域的な観光周遊ルートとして「ソウルフルロード」、「鯖街道」、「北國街道」を設定し、観光客の誘致に力を注いでいるところである。また、ポストコロナにおけるインバウンド需要の回復や北陸新幹線（金沢～敦賀）延伸（２０２４年春）、湖西線開業５０周年を受け、敦賀地域と湖西地域を結ぶ鉄道沿線の地域活性化にも取り組んでいる。 これらの取り組みを推進するため、近畿圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「３－３．歴史・文化・おもてなしプロジェクト」に基づき、福井県嶺南地域と滋賀県湖北・湖西地域の広域観光周遊ルートの基盤整備を行い、満足度の高い魅力ある観光地域づくり、国内外観光客の効果的な誘客拡大を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		6,400	A	6,400	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31		R11
1	【福井県・滋賀県 共通目標】 福井県（嶺南地域）と滋賀県（湖北・湖西地域）の観光入込客数1265万人（H31）から1412万人（R11）に増加 （147万人（12％）の増加） 【福井県・滋賀県 共通目標】観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 － H31の年間観光入込客数） / （H31の年間観光入込客数）			
		1265万人	万人	1412万人
2	【福井県 単独目標】 福井県（嶺南地域）の観光入込客数849万人（H31）から976万人（R11）に増加 （127万人（15％）の増加） 【福井県 単独目標】観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 － H31の年間観光入込客数） / （H31の年間観光入込客数）			
		849万人	万人	976万人
3	【福井県 重点目標】 拠点施設の観光入込客数163万人（H31）から171万人（R11）に増加 （8万人（5％）の増加） 【福井県 重点目標】観光入込客数（拠点施設） （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数 － H31の年間観光入込客数） / （H31の年間観光入込客数）			
		163万人	万人	171万人
4	【福井県 単独目標】拠点施設を結ぶ観光ルートにおける１日あたりの総アクセス時間を1,292時間・台／日（R11）短縮す 【福井県 単独目標】アクセス時間短縮 （アクセス時間短縮効果）＝（Σ整備前のアクセス時間－Σ整備後のアクセス時間）×日交通量（R5センサス）			
		0時間・台／日	時間・台／日	1292時間・台／日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
○観光入込客数の当初現況値は新型コロナウィルス流行前のH31年実績値。○その他事項については（参考様式２）整備計画関連事項に記載。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	福井県	直接	福井県	国道	改築	（国）365号・栃ノ木峠道路	バイパス整備 L=1.0km	南越前町	■	■	■	■	■	700	1.47	-	
		新規事業採択時評価（H27）、再評価（R5、事業継続）																		
	A11-002	道路	一般	福井県	直接	福井県	都道府 県道	改築	（一）常神三方線・常神～遊子	バイパス整備 L=1.4km	若狭町	■	■	■	■	■	5,300	1.15	-	
		新規事業採択時評価（H26）、再評価（R4、事業継続）																		
	A11-003	道路	一般	福井県	直接	福井県	国道	改築	（国）1 6 2 号・一番町	現道拡幅 L=0.2km	小浜市	■	■	■			400	1.3	-	
		新規事業採択時評価（H23）、再評価（R6、事業継続）																		
												小計						6,400		
											合計						6,400			

事前評価チェックシート

計画の名称： 琵琶湖・若狭湾を結ぶ周遊観光を促進する福井・滋賀の広域的地域活性化計画（重点 ）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○